



# むかい

## 学校教育目標

- ・かしこく ・やさしく
- ・たくましく ・なかよく

自分で考え、動き出す力を

校長

新緑がまぶしい季節となりました。新年度が始まり一か月が過ぎ、子どもたちは新しい学年・新しい環境にも少しずつ慣れてきました。教室では、新しい友だちや先生との関わりの中で、自分なりに考え、行動しようとする姿が多く見られるようになっていきます。

4月14日には、「1年生を迎える会」が行われました。少し緊張ぎみだった1年生を、2年生から6年生までが拍手で迎えました。2年生が作ったペンダントのプレゼントを、1年生が大事そうに首からかけている姿が、微笑ましかったです。体育館が優しくあたたかい空気に包まれました。素晴らしい会を企画し進行してくれた、企画委員の児童たちに感謝します。



1年生を迎える会

さて、子どもたちの表情を見ていると、いきいきとした明るい顔のときと、どこか元気のない顔のときがあります。その違いはどこから生まれるのでしょうか。私は、「自分でやろうとしているか、それともやらされていると感じているか」の違いが大きいのではないかと感じています。

子どもたちは本来、自分で考え、試し、工夫することが大好きです。例えば遊びの中では、ルールを自分たちで決めたり、うまくいかなければやり方を変えたりしながら、夢中になって取り組んでいます。そこには、「どうしたらうまくいくか」を考え続ける姿があります。

学習においても同じです。すぐに答えを教えてしまうのではなく、自分で考える時間や選ぶ機会があることで、「やってみよう」という気持ち生まれます。うまくいかない経験も含めて、その積み重ねが「自分でできた」という自信につながり、次の挑戦への意欲を育てていきます。

本校で大切にしている「個別最適な学び」も、一人ひとりが自分のペースで考え、自分なりの方法で学びを進めていくことを重視しています。これは、4月の始業式でお話した「四つの『あ』」の中の「あきらめない」にもつながります。すぐに答えが出なくても、自分で考え続けること。その姿勢を大切に育てていきたいと考えています。

また、日々の学校生活の中では、「あいさつ」や「ありがとう」の言葉も少しずつ広がっています。自分からあいさつをすること、友だちの行動に感謝の気持ちを伝えることは、安心できる温かな学校づくりにつながります。こうした積み重ねが、子どもたちの心の成長を支えていきます。

ご家庭におかれましても、お子様が自分なりに考え、取り組んでいる姿を見かけましたら、ぜひその過程に目を向けていただき、「がんばっているね」「いい考えだね」と声をかけていただければと思います。成功だけでなく、挑戦そのものを認めてもらうことが、子どもたちの大きな力になります。

今年度、本校は開校三十周年という節目の年を迎えました。これまで大切にされてきた教育の積み重ねを礎にしながら、子どもたちが「自分で考え、行動し、成長していく力」をさらに伸ばしていけるよう、教職員一同努めてまいります。

今後とも、保護者・地域の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。